



笑顔あふれるまちづくり いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 397 2015. 1. 4.

みなさんと「住み続けたい」を実現

武蔵小山再開発・放射2号道路は中止 認可保育園・特養ホーム増設がんばる

社会的宝物である子どもを健やかに育てたい。働くパパママになくはない認可保育園増設を議員になり16年間求め続けています。新婦人や保育問題協議会など増設

**パパママの願い
認可保育園増設に
全力投球**



新婦人のみなさんと「核兵器廃絶」署名行動 中央がいいぬま

区立保育園をつくりません。認証・認可外保育所・保育ママなど民間任せで今年4月待機児は870人にも膨れ上がりました。区の失政を「よくやっている」と評価し区民の請願に反対する自民・公明・民主・無所属議員に任せ

を求めると、11年間で29カ所増設を実現。子育て支援が大幅に遅れている日本です。自治体の出番ですが、入園できず仕事をするのに、お金も土地もあるのに、濱野区長は「待機児ゼロ」を公約に掲げながら「将来少子化になる。区立は財政負担になる」と、

品川に生まれ、第一日野小、日野中、八潮高校、区立保育園保育士28年、品川で育った私が、区議会議員になった理由はただひとつ。子どもが高齢者が障害者が大切にされない政治に怒ったからです。「笑顔あふれるまちづくり」に私の願いがこめられています。子どもも大人も一人ひとりの意見が尊重されるまちづくりを進めたいのです。2015年みなさんと力あわせ「この街に住み続けたい」願いを実現します。

特養ホーム 更に1カ所検討中と 前向き答弁引き出す

請願運動24回。共産党は議会論戦で切実な実態を訴え、23区で最低レベルの整備率を告発してきました。積み重ねが「もうつくらない」との区の方針を変えさせました。11年ぶりに八潮に、今年杜松小跡に29床、16年平塚橋会館跡に100床、17年上大崎に102床増設実現。しかし待機者は640人、合計231床増ではとても足りません。私は、10月23日一般質問で更なる特養増設を求め、区は「4カ所目がほしい、適地を検討している」と前向き答弁でした。ところが自民党議員は「特養ホームをつくれば

ランニングコストがかかります。まさに自共対決です。品川区には、溜め込んでいる。土地代も建設費も高い。責任ある福祉の継続のためには財政面をしっかりと見なければ」と請願に反対しブレーキをかけます。現のためがんばります。品川区には、溜め込んでいる。土地代も建設費も高い。責任ある福祉の継続のためには財政面をしっかりと見なければ」と請願に反対しブレーキをかけます。現のためがんばります。

商店街壊し 武蔵小山駅前再開発は 中止を



武蔵小山駅前に40階建て高さ142mのタワーマンションが計画中。1棟に57億円の税金を投入します。今後駅から中原街道までの57ヘクタールを次々に開発する計画が潜んでいます。

「防災のためと現在元気に営業している店舗を追い出し、商店街はどうなるの」「今でも混雑している武蔵小山駅に人があふれ危険」「保育園も学校も足りない」「高層ビルのビル風で歩けない街になってしまう」心配は続々。税金投入で喜ぶのはゼネコン。商店街壊し、まち壊しは許しません。

住民追い出し、まち壊し 放射2号線道路計画は中止を



星薬科大前で地域の方々と調査中
笠井衆議院議員(中央)
右へ白石都議、鈴木区議、いいぬま

星薬科大学、荏原一中、第一日野小とすでに延焼遮断帯があります。火災危険度は「2」と低く、木造密集ではない地域に、防災のためと区民をだまし放射2号線を強行するのはなぜでしょうか。税金300億円を投入し、ゼネコン奉仕の公共事業を進めるのは区長と、自民・公明・民主・無所属の議員です。ずっと住み続けたい住民を追い出し、町会と地域コミュニティーと環境を壊す道路はいらないと反対運動が起こるのも当然です。

道理のない計画に怒りをぶつけ運動を広げ中止させましょう。

**消費税10%増税、戦争する国づくり、
原発再稼働…安倍政権の暴走政治と対決し、
区民の願いが実現する区政めざしみなさんとがんばります。**